

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 7年 8月 28日 (木)
クラス名(年齢)	ひよこ組(0歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

水に触れて冷たさや心地良さを感じる

<テーマの設定理由>

暑い夏だからこそ水の冷たさを心地良く感じるができると思い、水に実際に触れていく機会を設け心地よい感触を味わっていけるようにしていく。

2. 活動スケジュール

- ・タライの中の水に触れ感触を楽しむ。
- ・水槽の中にシャワーで流すと気泡が出来るところを見る。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・タライ ・カメラ
- ・水槽
- ・シャワー

4、探究活動の実践

<活動内容>

水遊びを通して、水に触れる感触を楽しんでいたが、改めて子どもの様子をじっくりと観察してみると初めはそっと触れていたが徐々にダイナミックに、手でバシャバシャすると跳ね返ることを楽しみだした。その様子から水の心地良さを全身で感じ始めていることがわかった。また、水槽の中にシャワーを流してあげると、気泡が出来ることを見て不思議そうに泡をつかみ、シャワーの強弱を試して行ったりした。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① タライの中に手を入れて水の冷たさを感じながら、「冷たいね」「気持ち良いね」と保育士が言葉を添え、手を入れると波のようにゆらゆらすることも経験した。



② 友達と一緒にバシャバシャしてみると水が跳ね返って更に楽しさが倍増し、水の感触を楽しみ気持ち良さも感じていた。



③ シャワーから出る水はどんな感じなのか手を伸ばして触れる様子から興味を示し、更に楽しむ様子が見られた。



④ シャワーを流すと気泡が出来ることを見てもみると泡にも触れてみたいと自ら触ってみた。



5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

水に触れる活動を通して、子ども達は感触を楽しみ、表情が豊かに広がった。安心出来る環境の中で、0歳児でも自分から触れようとする姿も見られた。今後も水や自然の素材を取り入れ、感触遊びを充実させていきたい。